

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「旧よろずやホテル」の復活で、女性・若者による、女性・若者のための地域活性化のモデル事業の推進
事業主体 (連絡先)	ちくまミライ合同会社 長野県千曲市桜堂 521-1
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業 オ) その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業 ⑧その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	9,687,098 円 (うち支援金: 6,559,000 円)

事業内容

千曲市のまちなかにある空き店舗「旧よろずやホテル」のリノベーションで、屋代駅前商店街に新たな息吹や子育て世代(女性・若者)の起業や活躍の場づくり、まちづくりを担う地域活性化のモデル事業を推進する。

- 1) 空き店舗リノベーション事業(ハード)
 - ・お掃除ワークショップ
 - ・灯りのワークショップ
 - ・小箱ショップの棚づくりワークショップ
- 2) 女性等活躍事業(ソフト)
 - ・ワンデーシェフ「よろづや食堂」
 - ・小箱ショップ事業「よろづや箱市」
 - ・よろづやクラス事業「よろづや教室」
 - ・高校生コラボ事業「屋代南高校生」
- 3) 駅前復活事業(ソフト|まちづくり関連)
 - ・地元の愛された懐かしの知野ちまん焼きなど復活事業
 - ・お月見イベントの復活事業
 - ・年金市のリニューアル提案と夏祭りへの参画
 - ・信州ブレイブウォリアーズの応援活動拠点
 - ・長野大学・松下ゼミによる「よろづやプロジェクト」
- 4) 地域情報発信事業(ソフト)



【よろづや教室(料理教室)】

【目標・ねらい】

- ①空き店舗を活用してライフスタイル別たまり場を創出
- ②女性や若者が活躍できる場所・コト・起業の機会づくりや商店街への起爆剤として波及
- ③商店街の活動やイベントへの新たな提案を含めた参加による商店街活性化の支援
- ④紙媒体やインターネットを活用した積極的な情報発信により活動の輪を拡大

事業効果

- ①空き店舗をリノベーションすることができ、中心市街地活性化基本計画にもある「ライフスタイル別たまり場」を創出することができた。この場所を活用して様々な世代がたまり場として活用が広がっている。
- ②「よろづや食堂」は、将来独立を希望している女性シェフや、自ら無農薬野菜の活動を広げるシェフなどが現在活躍している。「よろづや箱市」は、当初想定を上回る27グループの女性の手作り作家が自らの作品を出展し、ワークショップや教室・講座などで随時開催してきている。「高校生コラボ」は、屋代南高校のライフデザイン科の生徒による杏酵母を利用したパンの試食会を開催して

地域に好評を得た。

- ③商店街で実施してきているお月見イベントや年金市へ「箱市楽座・食堂楽座」で参加、歩道活用と公共交通の活用の検証、信州プレイブウォリアーズの応援活動としてパブリックビューイングを試験開催、長野大学・松下ゼミによる「よろづやプロジェクト」などにより地域参加及び拠点の場となっている。
- ④チラシの作成やホームページの作成はもとより、SNSを活用した情報発信を積極的に行い、フェイスブックなどでは高い評価も得られている。また、地域情報については、店内にチラシコーナー設置やイベントなどで情報を広げることができてきている。

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・「よろづや食堂」は7グループ、「よろづや箱市」は27グループで当初の想定を上回る。
- ・「よろづや教室」は約30回の講座・交流イベントなど開催され、来店者と含めて約3500名との交流(1月まで)が生まれている。
- ・商店街に新しい客層(子育て世代を中心とした女性層、自己表現や地域参加、プチ起業を望む新世代)が来街するようになった。
- ・商店街イベント、他団体の交流拠点、歩道活用、公共交通活用など様々なまちづくりの拠点と

今後の取り組み

- ・和かふえよろづやのコンセプトに自信を持ち、「よろづや食堂」「よろづや箱市」「よろづや教室」を3本柱として事業を継続していく。さらに地元の食材を使用した加工品などの販売やPRを軸とした取り組みを展開していく。
- ・特に女性等活躍事業として、年金市とコラボした箱市楽座・食堂楽座の継続、新たなイベントの企画実施により交流を広げて和かふえよろづやや商店街の集客と回遊を図っていく。
- ・持ち越しとなった知野ぢまん焼き店の復活、及び現在の建物の2・3階がまだ空き店舗となっていることからこのスペースの活用をさらに企画し、商店街への波及やまちづくりを展開していく。